令和5年12月18日

教員　学校評価分析報告

1.　教員回答数について（回答数／教員数）

回答率　100％

教員　　21名／21名

2.　ポイント

（1）　地域について

「私は、学校と保護者と地域の協力は大切だと思う。」の肯定的意見が100％となっている。本校は、子どもたちの成長を地域の皆様に支えていただいおり、教職員一同感謝の気持ちがとても高い。

一方で、「私は、地域の活動などに協力的である。」は、否定的意見が多い。昨今、教員の職務内容や勤務時間が大きな課題となり、精神疾患による離職者が増えていることが大きな問題となっている。このことから勤務の見直しを行い、地域行事についても悉皆ではなく参加を希望性としている。地域への感謝の気持ちもあることから地域活動に協力ができることなど考えていきたい。

「私は、地域に情報を提供している。」も低い数値となっている。地域の皆様に学校からどのような情報が必要なのか情報の教えていただき、今後発信できたらと思っております。

（2）　情報発信について

「私は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。」は、昨年度に引き続き数値の上昇はないが、管理職として、教員が子どもたちと接する時間をより多くとってほしいと思い、ホームページの更新は管理職やスクールサポートスタッフなどがホームページを上げている。（各教員がホームページをアップしたい場合には、アップをしている）。

「すぐーる」については、昨年度まで管理職が配信することとなっていた。今年度より、学年主任に、「すぐーる」の配信方法を伝え、いつでも連絡事項などを配信できるような体制を整えた。管理職を通さなくて良いため、より手軽に配信ができるようになった（重要案件や表現方法にご不安がある場合などは、配信前に管理職・主幹教諭等にチェックを行っている）。

「私は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。」では、便りにすることによりその準備に時間がかかってしまうため。「すぐーる」での配信を行っている。保護者の皆様がどのような情報を必要としているか伺いながら、必要なものについてはしっかりと情報提供ができるようにしていきたいと思う。

「私は、学び舎の情報提供をしてる。」も低い傾向にある。今年度より児童・生徒の交流を進めて来ていることから、保護者会等で情報を提供していく。